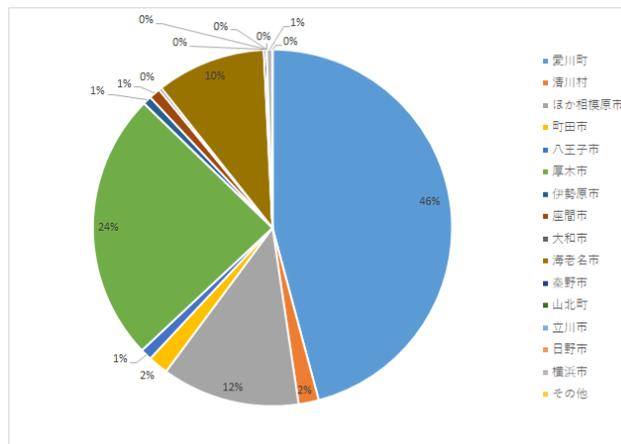
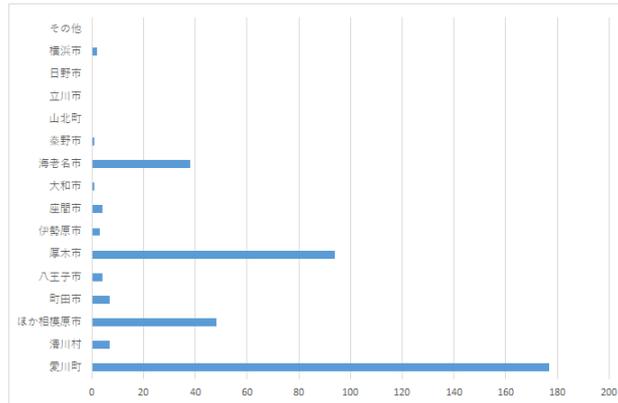
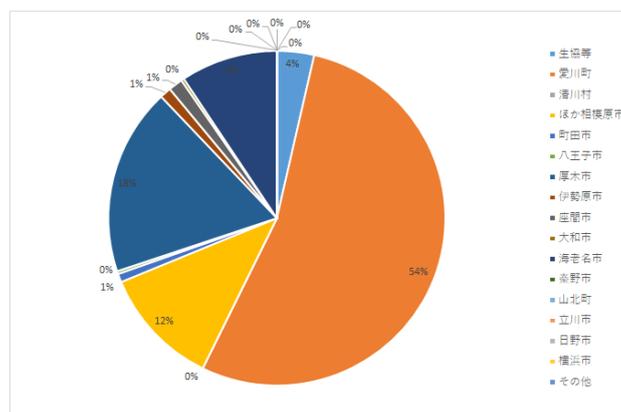
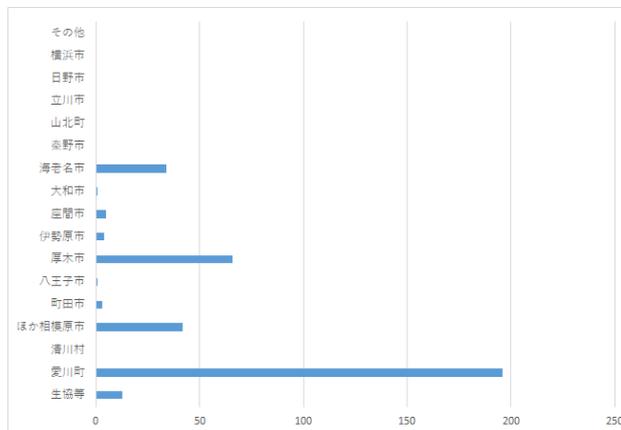


3) 愛川町在住女性の購買場所傾向について

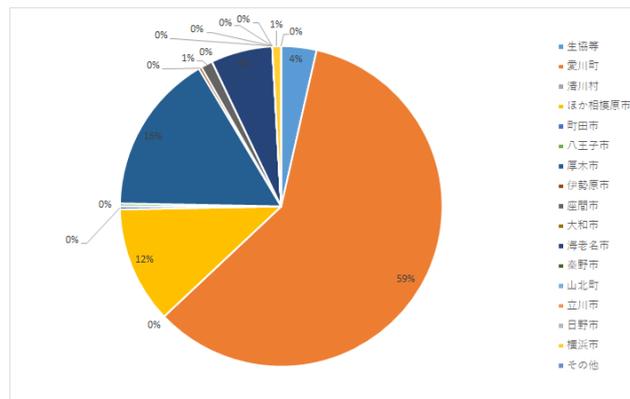
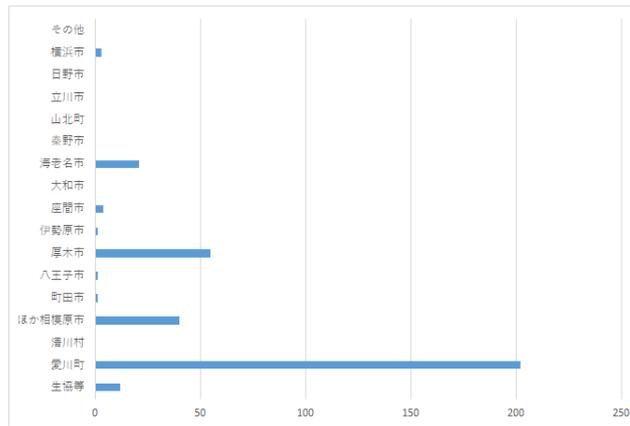
《外食場所》



《食料品の買い物場所》



《日用品の買い物場所》

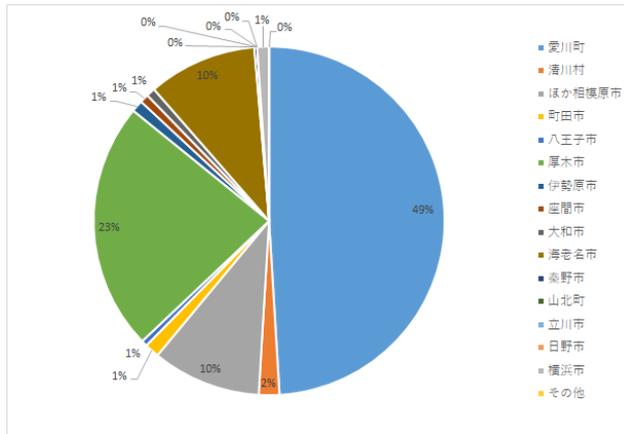
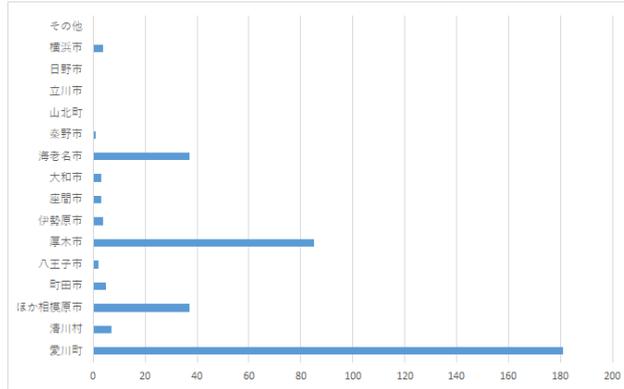


総括

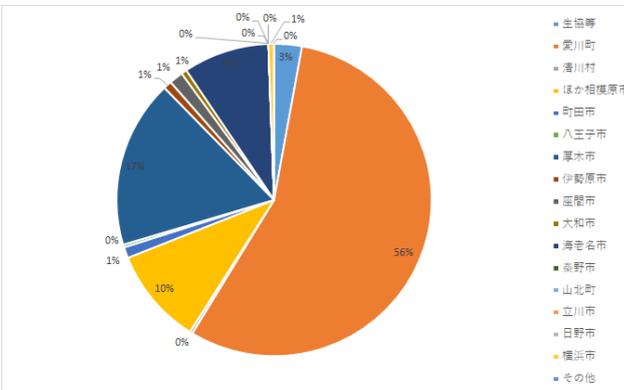
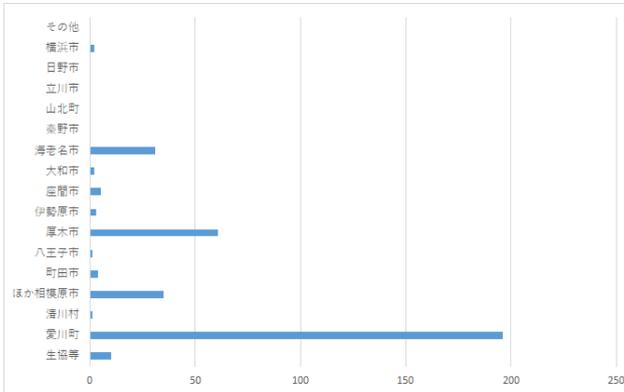
愛川町在住男性の消費地傾向と同等の見解である。

4) 愛川町在住 50 歳以上の購買場所傾向について

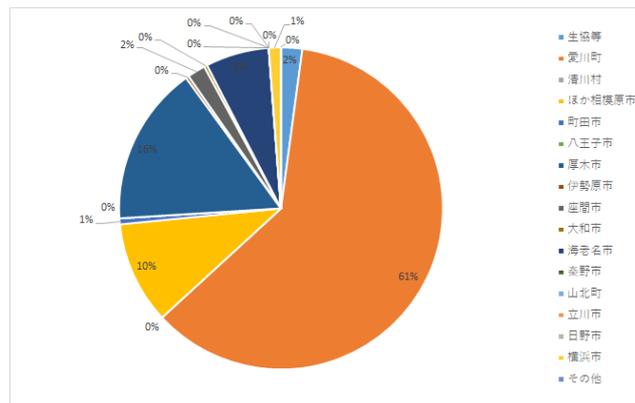
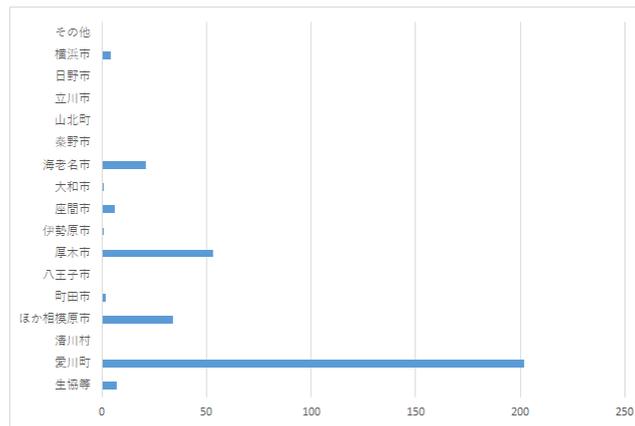
《 外食場所 》



《 食料品の買い物場所 》



《日用品の買い物場所》

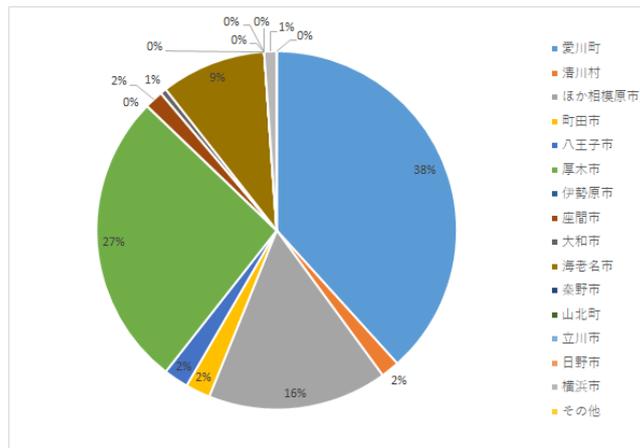
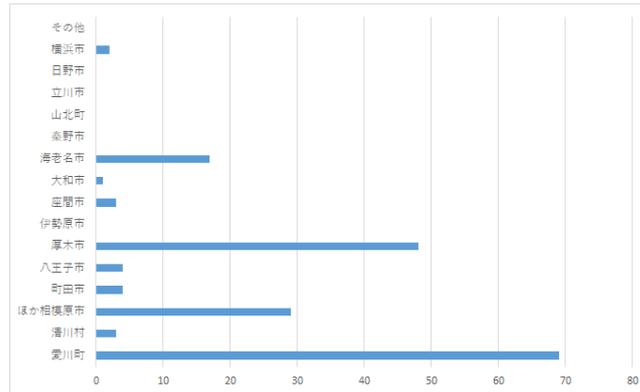


総括

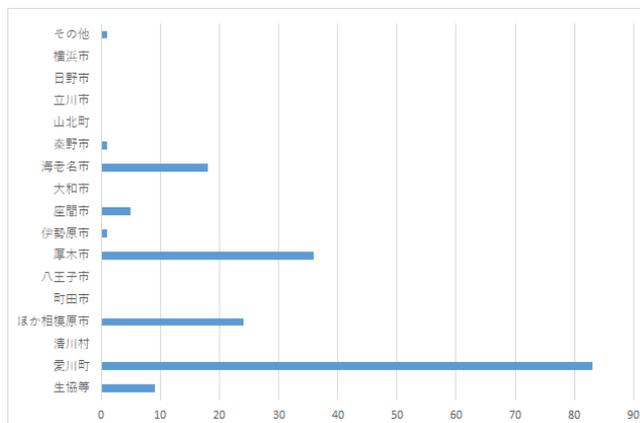
後述の愛川町在住50歳未満の方々と比べ、外食地の愛川町が高くなっている。これは、アクティブな50歳未満の方々に比べ、外食の際の移動範囲が狭いからだと予測できる。

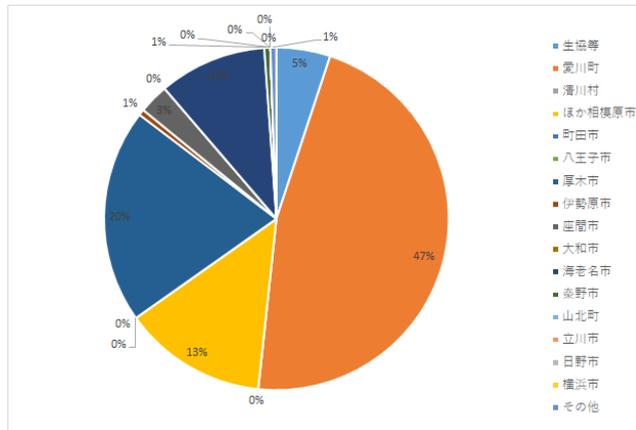
5) 愛川町在住 50 歳未満の購買場所傾向について

《 外食場所 》

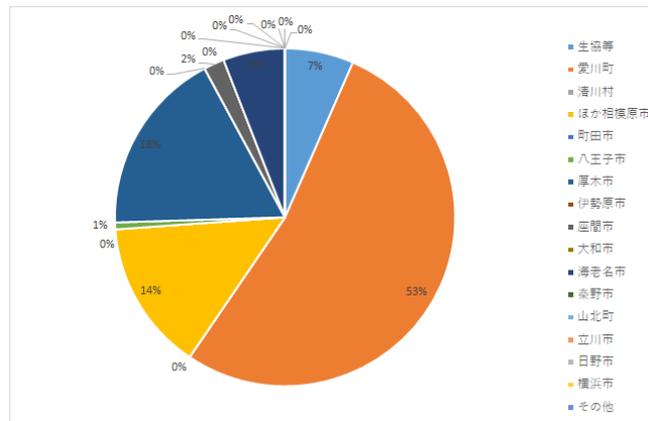
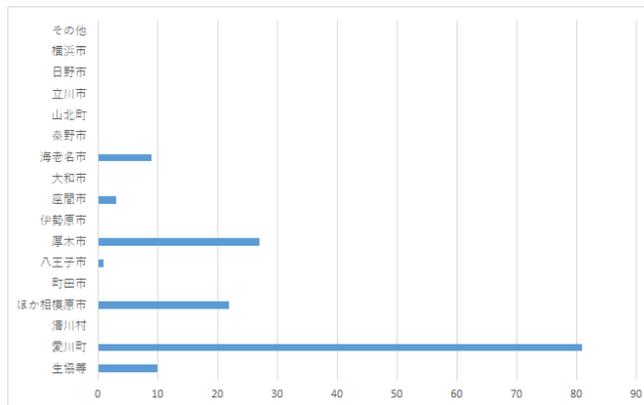


《 食料品の買い物場所 》





《日用品の買い物場所》

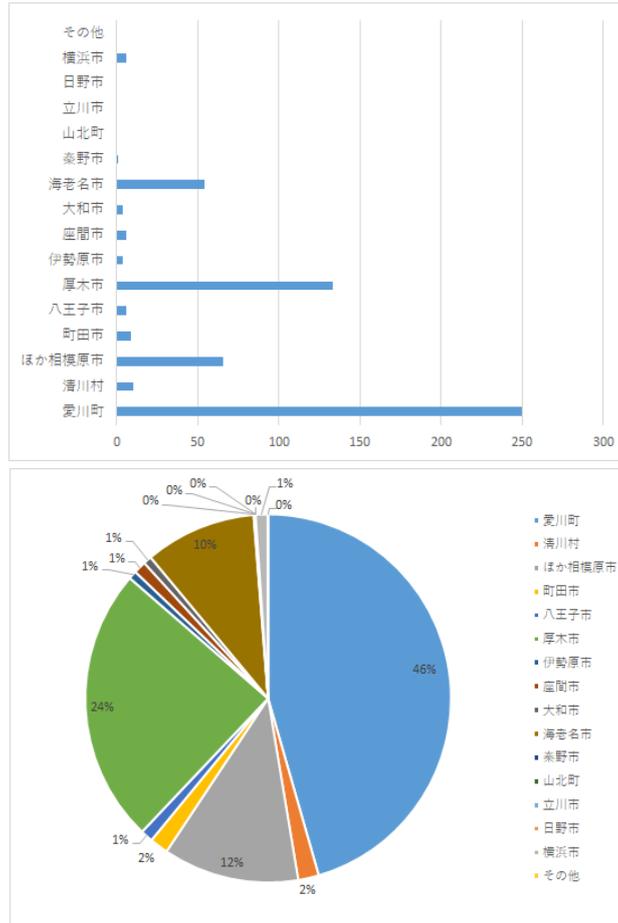


総括

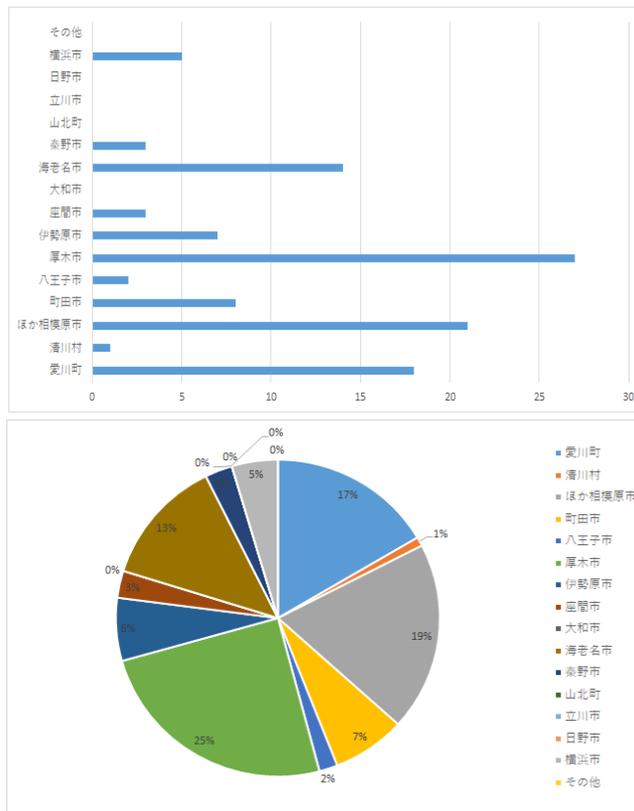
既述の愛川町在住50歳以上の方々と比べ、外食地の愛川町が低くなっている。一方、座間市や町田市、八王子市等での外食機会が多い傾向がある。これは50歳以上の方より、50歳未満の方々の方が、活動範囲が広くアクティブであると推察できる。一般の2次データでは、このあたりの傾向が色濃く出るものであるが、愛川町在住者の場合、「傾向の差」は小さい。

6) 愛川町以外在住者との購買場所傾向の相違について

《 外食場所 》



(愛川町居住者)



(愛川町以外居住者)

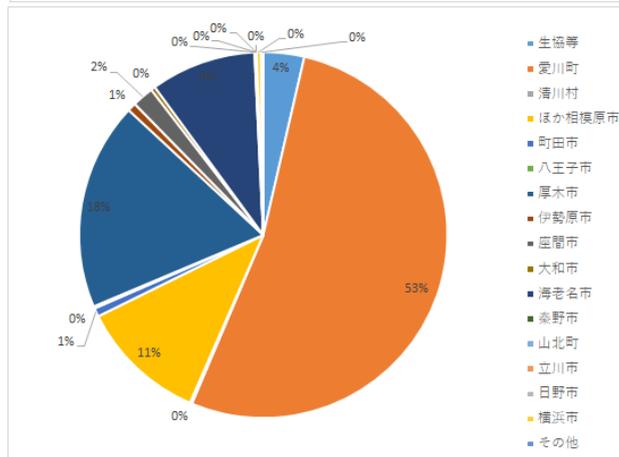
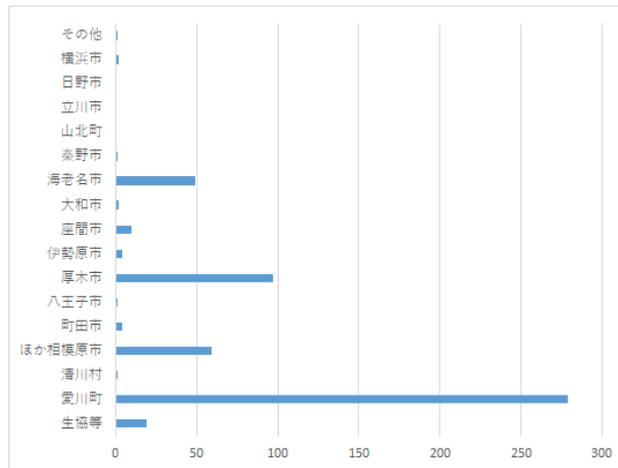
総括

愛川町居住者に比べ、愛川町外居住者の方が外食場所が散在（広域化）している。これは愛川町内に比べ、町外の方が、公共交通機関等が発達しているためだと推察できる。町外居住者数人と調査会場で会話をしたが、最寄りの駅に車を駐車し、電車等で移動することも多々あるとのことである。

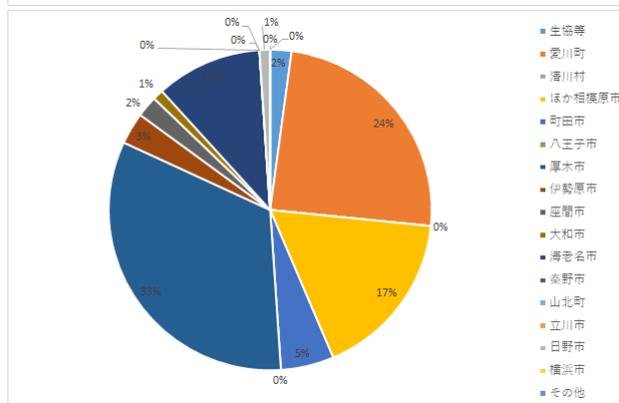
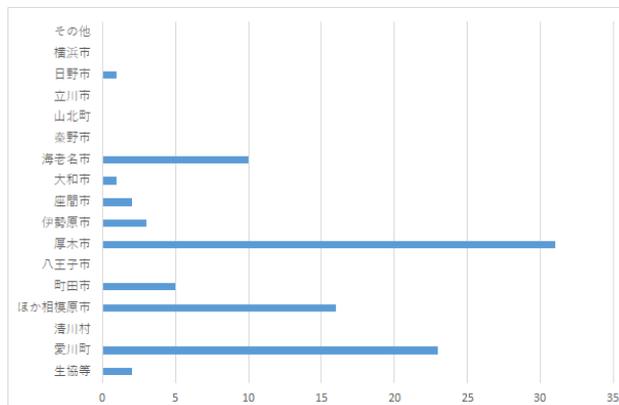
一方、愛川町内居住者には、目的地まで「全て自家用車」で完結する傾向も、当日のヒアリングで聞き取れたため、その違いが、外食場所の散在（広域化）に影響しているものと推察できる。

つまり、愛川町在住の方は外食場所に「駐車場」が必須であり、愛川町外の方は、外食場所に駐車場が必須である傾向が薄いということである。

《食料品の買い物場所》



(愛川町居住者)

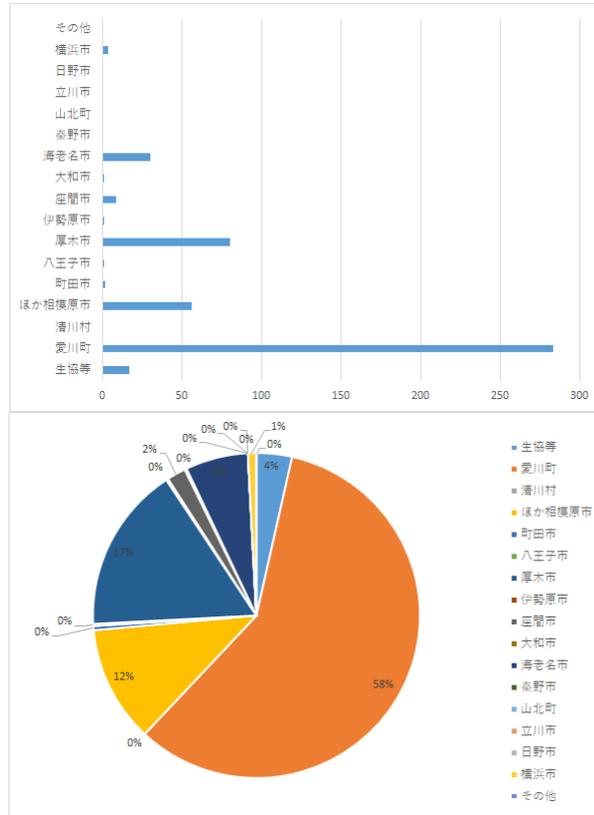


(愛川町以外居住者)

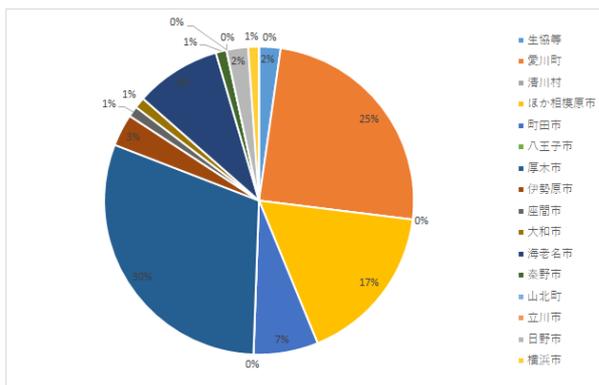
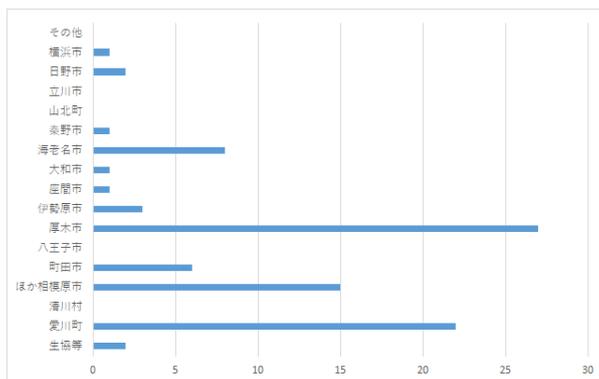
総括

既述の外食と同様の傾向が見られる。

《日用品の買い物場所》



(愛川町居住者)



(愛川町以外居住者)

総括

既述の外食と同様の傾向が見られる。